

事務事業名		佐野市医師会附属佐野准看護学校運営費支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	地域医療係	担当課長名	川島紀昭	
	施策	2 地域医療体制の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 医療機会の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6912	一般	4	1	1	佐野市医師会附属佐野准看護学校運営費支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S38年度～ 年度		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業			市単独事業
								任意的事業・義務的事業			任意的事業
								実施方法			直営
								事業分類			支援事業
								リーディングプロジェクト			該当なし
								市長マニフェスト			1-8

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
市民に必要なときに安心して医療を受けることができるように、看護師の育成を支援し地域医療の充実を図るため、佐野准看護学校の運営の支援するため補助金を交付している。	<市の活動> 佐野准看護学校を運営している佐野市医師会に補助金を支出するための事務(申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、補助金交付)。 <佐野准看護学校の活動> 准看護師の育成						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	運営費に対する補助金の割合	%	8.6	8.1	8.1		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

佐野准看護学校学生	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	准看護学生数(在校生)	人	67	70	83		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

市内医療機関への従事	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	准看護学校卒業生	人	32	30	38		
	准看護師試験合格者	人	32	30	38		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民が身近に安心して医療が受けられる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	市内医療機関数	個所	172	169	177	178	179

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		4,000	4,000	4,000						
	事業費計(A)	千円		4,000	4,000	4,000		0			0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金補助及び交付金	4,000	負担金補助及び交付金	4,000	負担金補助及び交付金	4,000	負担金補助及び交付金	4,000	負担金補助及び交付金	4,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2		2		2				
	のべ業務時間	時間	10		10		10					
	人件費計(B)	千円	39		39		39		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,039		4,039		4,039		0		0	

事務事業名	佐野市医師会附属佐野准看護学校運営費支援事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	地域医療係
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	開始は昭和38年だが、きっかけは不明。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	佐野准看護学校から、県の補助金の支給額の減額等があり、運営が厳しいとの意見がある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成21年度に佐野市補助金等検討委員会より、佐野市への貢献度(看護師の定着度等)を把握した上で医師会と協議し、補助に対する市の姿勢を明確にして欲しいとの提言があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	引き続き、准看護学校へ、学生が卒業後は市内医療機関へ従事してくれるように指導をお願いした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 准看護学校の運営を支援することで、准看護師を養成し看護師不足を解消し、地域医療の体制の充実に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 准看護学校の運営を支援することは、地域医療の一端を担う看護師を養成することであり、地域医療の体制の充実に結びつくことであり、市が行なう必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 佐野市内の看護師不足を解消するものであり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 准看護学校の卒業生は、全員試験に合格しており、中には上の学校に進学する生徒もいるが、補助金等交付検討委員会で指摘されたように、佐野市への貢献度は不明であるため、准看護学校へ補助金の交付するにあたり、卒業後は市内医療機関への従事等を要望することで、より地域医療の充実に図ることができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 補助金の増額の要望が提出され、19年度増額をしたため、削減は難しい。必要な事務手続きが主なもので、人件費の削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 看護学生は、授業料、施設費、実習費等の負担をしている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	市内の医療機関等における看護師不足が解消されれば、この事業は終了となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 准看護学校へ補助金を交付するにあたり、卒業後は市内医療機関への従事等を要望することで、より地域医療の充実に図ることができる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	准看護学校を卒業しても、直ぐに医療機関に従事する学生は少なく、正看護師の資格をとるため、看護学校に進学する学生が多い。 何年後かに医療機関に従事する際は、佐野市内の医療機関に出来るだけ従事してもらうように学校で指導してもらう。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					